

## 第231回ゴム技術シンポジウム

### 基礎から応用技術でみるゴムのトライボロジー

主催：日本ゴム協会研究部会 トライボロジー研究分科会  
協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、  
日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本接着学会、日本複合材料学会、  
プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会、  
日本レオロジー学会（順不同）

.....  
ゴム材料の摩擦・摩耗は製品の性能や寿命に大きな影響を及ぼす要因の1つであるが、複雑な現象ゆえに十分に理解されているとは言い難い。本シンポジウムではゴムのトライボロジーの基礎的理解を助けるとともに、その応用につながる新規技術を紹介する。

日時：2017年1月25日（水） 午前9時50分～午後5時10分

場所：東部ビル5階 AB 会議室（東京都港区元赤坂1-5-26） TEL 03(3401)2957

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員23,760円、日本ゴム協会学生会員5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます

シニア制度対象会員11,880円（60歳以上の正会員）、会員外32,400円

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください（定員80名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。

振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。開催日が近づきましたら、開催のご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第231回ゴム技術シンポジウム係

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL: 03 (3401) 2957 FAX: 03 (3401) 4143 E-mail: [komatsu@srij.or.jp](mailto:komatsu@srij.or.jp)

9:50～9:55 開会のあいさつ

トライボロジー研究分科会主査 岩井 智昭

【座長】産業技術総合研究所 二瓶 光弥

9:55～10:55 ソフトマテリアルの摩擦・摩耗の基礎中の基礎

金沢大学 岩井 智昭 氏

ゴム・プラスチックなどのソフトマテリアルの摩擦・摩耗に関して、教科書的な基礎知識について解説する。

10:55～11:55 ゴム・ゲルの摩擦・摩耗・破壊と界面状態のモニタリング（仮）

九州大学 山口 哲生 氏

【座長】金沢大学 岩井 智昭

12:55～13:55 氷雪のトライボロジー（仮）

富山大学名誉教授 対馬 勝年 氏

13:55～14:55 タイヤの氷上性能（仮）

産業技術総合研究所 二瓶 光弥 氏

【座長】化学物質評価研究機構 伊東 寛文

15:05～16:05 高周波粘弾性評価技術とその応用

高周波粘弾性(株) 小俣 順昭 氏

メガヘルツ粘弾性測定装置によって簡便に表面粘弾性を評価できる様になっている。ゴムの劣化などに応用した事例をご紹介します。

16:05～17:05 スーパーグロースカーボンナノチューブの産業応用に向けた取り組み（仮）

日本ゼオン(株) 武山 慶久 氏

17:05～17:10 閉会のあいさつ

トライボロジー研究分科会副主査 二瓶 光弥

※プログラムは一部変更になる場合可能性がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。